



大会概要

2025年SUPER GTシリーズ 第2戦

大会名称

2025 AUTOBACS SUPER GT Round 2 FUJI GT 3 Hours RACE  
ゴールデンウィークスペシャル

開催日時

5月3日 土曜（予選） 5月4日 日曜（決勝）

開催サーキット

富士スピードウェイ（1周：4.563km）  
所在地：静岡県駿東郡小山町

同時開催レース

2025年FIA-F4選手権シリーズ第1戦・第2戦・第3戦

主催

富士スピードウェイ株式会社/FISCOクラブ（FISCO-C）/株式会社GTアソシエーション

公認

国際自動車連盟（FIA）/ 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション

後援

経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/静岡県小山町/御殿場市  
/裾野市/公益社団法人静岡県観光協会/小山町観光協会/一般社団法人御殿場市観光協会/  
一般社団法人裾野市観光協会



## ◆ 参戦体制

## ■ ドライバー



片山 義章  
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日  
出身地 愛知県  
身長 168cm  
体重 69.3kg  
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン  
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日  
出身地 スペイン  
身長 178cm  
体重 70kg  
血液型 RH+O

## ■ 代表

古場 博之

## ■ 監督

小倉 啓悟

## ■ スタッフ

チーフエンジニア  
チーフメカニック

Mattia Oselladore  
片岡 恵人

## ■ スポンサー

アスカ株式会社

株式会社アート買取協会

株式会社C I S

株式会社デジテックエイチピー

O I R C

朝日金属株式会社

T O N E 株式会社

株式会社マイティミズタニ

ニチアス株式会社

城東電機株式会社

学校法人高岡学園 高新自動車学校

サンディスク株式会社

ザーレン・コーポレーション株式会社

有限責任中部総合監査法人

D O B O T ジャパン株式会社

ARMS株式会社

エバー株式会社

見田工作株式会社

株式会社コスモ開発

愛知電線株式会社

岡田金属株式会社

菅原金型株式会社

株式会社ソフト99オートサービス

有限会社大和工業

M I D T O W N B B Q

大成土木株式会社

青山エレベーター株式会社

株式会社エイチアンドエフ

医療法人社団ヒロデンタルクリニック

カトー機械株式会社

株式会社ジョイフル設備

## ◆ 予 選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	20℃ (GT300クラスQ1開始時)
路面温度	33℃ (GT300クラスQ1開始時)
予選開始	14時48分 (GT300クラスQ1-B組開始)



Team LeMans は本年度より正式にエントラント名を VELOREX とし、昨年に引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦5年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを継続起用。チーム体制も継続し、2024 シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤはこれまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは予選方式が2023年までのノックアウト方式に戻されることとなった。GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間の予選Q1が実施されるのは以前と変わらないが、予選Q2へは各組それぞれ1台ずつ増加し、それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。つまり以前よりエキサイティングな予選Q2が観られることとなった。予選順位はQ2のタイム順で決定される。またGT300クラスは28台が参加する激戦となるため、ポイントシステムも変更され、ポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。

## #6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

**予選結果：27位 (予選Q1:14位/片山選手：1分37秒368/予選Q2：不参加)**

予選当日、朝の公式練習では気温19℃、路面温度28℃というコンディションの中、6号車UNI ROBO BLUEGRASS FERRARIは、48周をこなし、ロベルト・メリ・ムンタン選手が予選用セットで全体3番手となる1分36秒466をマークし、片山義章選手も決勝用のロングランで安定して速いタイムをマークしていた。イタリアから駆け付けたエンジニアのマティアも「予選用セットアップも問題ないが、それ以上に決勝用ロングランのタイムが素晴らしい」とセットアップへの自信をのぞかせる。

GWの最中ということもあり、土曜日に33,300人も観客が詰めかけた富士スピードウェイでは、14時48分から予選Q1グループB組の攻撃が始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは片山が出走。しかしコースイン直後からエンジンのパワー不足を感じていた片山は、それでも4周目に1分37秒368をマークし、連続アタックで1分36秒990をマークした段階でチェッカー。しかし最後の攻撃の最終コーナーでのトラックリミットを取られ、ベストタイム抹消。残念ながら予選Q2進出はならなかった。これにより、決勝は27番手グリッドという、まさかの最後列スタートが決定した。

## ◆ 決 勝

天候	雨のち曇り
コース状況	ウェットからドライ
気温	24℃ (スタート時)
路面温度	38℃ (スタート時)
決勝レース開始	14時18分 (正式スタート時刻 14時18分10秒)

レース予定走行時間 3時間  
(正式フィニッシュ時刻 17時19分32秒811)



## #6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山&amp;ロベルト選手)

**決勝結果：優勝 (所要時間：3時間=107周消化/ベストラップ：1分37秒445=ロベルト 選手)**

決勝日となった5月4日はゴールデンウィークということもあって、早朝から49,200名もの観衆が富士スピードウェイに詰めかけた。快晴の空の下、スタート直前にグリッドでエアジャッキが降りないトラブルが発生したマシンがあり、交通機動隊を先導としたパレードラップは1分遅れて14時11分にスタートした。続く1周のフォーメーションラップのあと、14時18分に正式なスタートが切られた。27番手グリッドからスタートしたロベルトは好ダッシュを見せて1周目で7台をパスして20番手でコントロールラインを通過。2周目には17番手、3周目には14番手と次々と前車をオーバーテイクし続け、10周目には9番手までポジションアップ。そして20周目には6番手まで追い上げ、32周目にドライバー交代のためにピットに飛び込んできた時には3番手と周囲を驚かせるパフォーマンスを見せてくれた。代わった片山もタイヤをいたわりながらロベルト同様のオーバーテイクショーを演じ、ロングステントを終えてトップに立ったタイミングでピットに戻り、再びロベルトに最終ステントへのステアリングを委ねた。6番手でレースに復帰したロベルトは、再びハイペースで追い上げ74周目に5番手、76周目に4番手まで浮上した。

ピットでは綿密な計算とシミュレーションの上、見せかけのトップではなく、全車最後のピットストップを終えた段階で実際のトップを走るであろうマシンに照準を定め、驚異的な速さを見せるロベルトに無線で指示。「いま我々の実際の順位は2位で、トップと25秒差だ。厳しいけれど抜くつもりでプッシュしろ」と攻め続ける姿勢を見せたVELOREX。そして87周目に3番手に浮上し、100周目に予想どおり2番手。トップを走る61号車との差は残り11分で11秒となっていた。101周目にその差8秒9、102周目に7秒2と1分37秒台の驚異的なペースで連続プッシュ。残り3分で6秒3、残り2分で4秒2、残り1分で3秒4と、トップを走る61号車のバックモニターにも映る距離までその差を縮めていく。しかしファイナルラップに入った時点でその差2秒5と、優勝には僅かに届かないはずの差を残してコントロールラインを通過した6号車。しかし奇跡は起こった。チェッカーまであとわずかのダンロップ・コーナーで、首位を走る61号車がエンジントラブルで白煙を吹きながらストップし、その横を深紅のUNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI UNI-ROBO が駆け抜けたのだ。興奮と歓喜と涙に包まれたピットの前を駆け抜けるロベルトの姿に、ガッツポーズを贈りながら、スタッフ一人ひとりと抱き合う片山、小倉監督、古場代表。スタッフ全員の努力が実を結び、奇跡の初勝利を呼び込んだ瞬間だった。

### 片山 義章 選手のコメント

予選ではブースト圧のトラブルが発生して下位に沈んでしまいましたが、決勝前のウォームアップ走行で充分僕たちにはポテンシャルがあることは確認できたので、失うものは何もないすっきりした気持ちで決勝を迎えました。ロベルト選手が最初のスティントで20台くらい抜いて戻ってきてくれたから、自分も前を抜くことだけに意識を集中して走りました。実際にはいろいろなトラブルが発生していたのですが、冷静に対処できました。今年は絶対に勝ちたいと周囲にも言い続けてきたので、その気持ちの強さで勝利を呼び寄せたのかも知れませんが、応援してくださったすべての方々やスポンサーの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

### ロベルト・メリ・ムンタン 選手のコメント

ちょうど4年前、この富士でスーパーGTに参戦し始めたのですが、あの日から今日まで本当に全員で努力してきて、トップを争うことができるようになったのは、嬉しい成長だと思います。まるで映画のドラマのような初優勝でした。最後尾からスタートし、20台以上を抜きながら、無線で“みんな、今日は勝てるよ！”と叫んだくらい調子が良くて、片山選手も素晴らしい走りとおバーテイクを見せてくれました。最後は61号車がタイヤが厳しくなってくるだろうと信じてプッシュし続けましたが、優勝するには絶望的な差がありました。それでも諦めることなく全力でプッシュし続けていたら、61号車から時折白煙が出始め、それが大きくなってきたので、もしかしたらチャンスがあるかも知れないと思って攻め続けました。相手には申し訳ないが、これもレース。本当に夢のような初優勝でした。ここまで応援し続けてくれたファンの皆さんや、スタッフ全員に感謝しています。

### 小倉 啓悟 監督のコメント

今日はいいいレースができるかなとは思っていましたが、まさか本当にここまで上手くいくとは思っていませんでした。ドライバーもスタッフも最高の仕事をしてくださいました。最後の展開は予想もしていませんでしたが、自分たちができることを全てやり尽くした結果だと思っています。ヨコハマタイヤさんも素晴らしい仕事をしてくださいましたし、スポンサーさん、すべての皆さんに感謝しています。忘れられない初優勝になりました。

### 古場 博之 エントラント代表のコメント

とにかくチーム全員が良い仕事をしてくれた結果です。特に片山義章選手が良かったですね。1時間を超えるロングスティントをとっても良いラップタイムで周回を重ねてくれましたし、凄く冷静に走ってくれたことが良かったです。無線にトラブルが出たり、実はいろいろあったのですが、彼は落ち着いて対処してくれました。もちろんロベルト・メリ・ムンタン選手が最初と最後のスティントで素晴らしい走りをしてくれたことも良かったですし、最後には前を行く61号車に強烈なプレッシャーをかけ続けたことが、相手の車への負荷をかける結果になってしまったのでしょうか。61号車の方には本当に申し訳ないですが、そこはレースなので、今日は自分たちが勝たせてもらいました。今回は今までになくドライバーとのコミュニケーションもしっかりできて、エンジニアも頑張った。当たり前なことなのですが、本当にそれをしっかりと頑張り抜いた。応援にいらした方々の声援や、サポートしてくださっている全ての方々の努力が実を結んだ初優勝だと思っています。本当に皆さんに感謝しかありません。ありがとうございました。



# UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCove

OIRC

 ヒロデンタルクリニック  
Hiro Dental Clinic

 朝日金属株式会社  
ASAHI

CLIMAX  
SOFT99 autoservice

  
KOHSHIN  
DRIVING SCHOOL

TONE

zahren

 SASAHARA

JOTO DIRECT

  
PANASHOP

  
ニチアス

 DOBOT

  
osmo  
development

 見田工作

 愛知電線株式会社

Digi-Tec  
INTECNO

 TAISEIDOBOKU Co., Ltd

 中部総合監査法人

  
EVER  
CORPORATION

  
AOYAMA  
ELEVATOR

MIDTOWN BBQ  
STEAK & SMOKEHOUSE

  
H&A  
Human & ARMS

  
DALWA

  
H&F

  
MAITY  
MAITY MEZUTANI ENGINEERING SYSTEM

  
PACIFIC  
RACING TEAM

  
岡田金  
工株式会社

  
a1 株式会社  
買取協会

 カトー機械株式会社

VELOREX  
Fueled by Ambition

Sponsor introduction

Team Le Mans